



一般社団法人

日本人間関係学会ニュース 第109号 発行日:2025.8.7

News No.109 Japan Association of Human Relations August 7,2025

発行: 日本人間関係学会 広報委員会 E-mail: tanikawa@kusw.ac.jp 関西福祉大学 谷川和昭研究室
事務局: 〒799-2496 愛媛県松山市北条660 聖カタリナ大学人間健康福祉学部 釜野研究室
E-mail: jahrijimukyoku@gmail.com URL: https://jahr.jp/

[内容] ☆巻頭言 ☆全国大会 ☆シリーズ「ともに老いゆく」(その1) ☆北から、南から ☆理事会報告 ☆事務局だより

《巻頭言》

新たな人間関係の構築に向けて—人間の尊厳を問い直す—

日本人間関係学会第33回全国大会 大会委員長 山崎 将文
(京都橘大学教授)



[大会テーマの趣旨説明]

従来から人間関係と言うと、人と人の関係であることに疑問をさしはさむ余地は全くありませんでした。と

ころが、最近、これに対して疑義が呈され始めています。というのは、人間関係にいう人のなかに、動物やAIも含まれるのではないかという主張がなされているからです。

動物について言えば、身近なところでは、ペットの犬や猫などを家族の一員とする動きがあります。例えば、小学校の家庭科の教科書で、ボクの家族としてペットを入れた図を載せたものが出版され注目を集めました。また、私の専門の法的観点からすると、アルゼンチンの連邦裁判所はオランウータンに人身保護令状をだしていますし、我が国の裁判所でもペット犬が事故で死んだ場合、加害者による飼い主の愛着利益(人格的価値)の侵害として慰謝料請求を認めています(動物のヒト化?)。

一方、AIについて、カーツワイルは2029年

に文章による対話で人間とAIの見分けがつかなくなり、2045年にはクラウド上のバーチャルの神経細胞層と人間の脳が接続され(人間とAIの融合)、人間はいままで数百万倍の計算能力、記憶力などを手にすることができるという未来予測をしました(シンギュラリティの到来)。法的な観点からは、AIを用いた意思決定やそれによって生じた事故についてのルールや責任について論じられ始めていますが、その中でAIに法人格を認めていくべきという意見がEU議会で提案されたことがあります。わが国の民法では、権利の主体は、人(自然人)と法人としているがゆえに、AIが法人格をもつと、AIも権利主体の一つになります(AIのヒト化?)。

他方、肝心の人間はと言うと、人間関係の希薄化が指摘されています。家族関係、友人関係、学校・職場の人間関係、それに地域でのつながりなど、様々な場面で人間関係の希薄化がみられます。その原因はいろいろ考えられますが、例えば、ITやSNSの普及、核家族化や単身世帯の増加などの家族構成の変化、都市化、そして働き方の変

化や生活様式の多様化、最近ではコロナ禍による社会活動の制限などが考えられます。動物のヒト化やAIのヒト化及び人間関係の希薄化のような変化、いわば、「人間の相対化」が生じている現代社会において、改めて人間とは何か、とりわけ人間の尊厳とは何かが問い直されていると言えるのではないのでしょうか。日本人間関係学会第33回大会のテーマを「新たな人間関係の構築に向けて一人間の尊厳を問い直す」としたのは、このような理由によります。

[京都橘大学について]

ところで、大会が開催されます京都橘大学の前身は1902年に京都女子手藝学校として創立され、1967年に橘女子大学(文学部の単科大学)として開学されました。1988年に大学名を京都橘女子大学、2005年に男女共学化し大学名を京都橘大学に改称し、現在、9学部15学科を擁する中規模の総合大学となっています。来年度にはデジタルメディア学部、工学部ロボティクス学科、健康科学部臨床工学科の設置を目指しています。

また、大学キャンパスは、山科盆地を一望できる緑豊かな音羽山の麓にあり、全学部がこの地にコンパクトに集結しています。山科は山階とも書き中臣鎌足から始まる藤原氏との結びつきも強く、NHKの「プラタモリ」で紹介されたように、京都と東日本をつなぐ交通の要衝でもあります。大学の周辺には、小野小町が晩年住んでいたといわれる随心院や、豊臣秀

吉が行った「醍醐の花見」で有名な醍醐寺や、大石内蔵助の隠棲の地と伝えられる岩屋寺など歴史ある古刹が点在しています。

さらに、京都は794年の平安京の遷都以来、皇室とともに反映してきた長い歴史があります。全国大会の前日(9月12日金曜日)のエクスカーションでは、京都迎賓館のガイドツアーなども予定されています。

最後に、本大会が会員の皆様にとって有意義なものとなりますように大会委員一同、準備を進めて参ります。多くの皆様の全国大会へのご参加を心よりお待ち申し上げております。



33rd 日本人間関係学会第33回全国大会
Japan Association for Human Relations

**新たな人間関係の構築に向けて
一人間の尊厳を問い直す**

Toward the Construction of
New Human Relations
- Re-examining Human Dignity

大会実行委員長 **山崎 将文**
(京都橘大学教授)
Chairperson of the Conference: Masafumi Yamazaki
(Professor, Kyoto Tachibana University)

日程: 2025年9月13日(土) 10:00~17:00
2025年9月14日(日) 9:00~16:00
「エクスカーション」2025年9月12日(金) 14:00~17:00
会場: 京都橘大学
September 13-14, 2025
Kyoto Tachibana University

JAHR 日本人間関係学会
Japan Association of Human Relations

第33回全国大会 2025/9/13~9/14

「新たな人間関係の構築に向けて
一人間の尊厳を問い直す」



大会委員長：山崎 将文(京都橘大学健康科学部救急救命学科教授)

日時：2025年9月13日(土曜日) 10:00~17:00

2025年9月14日(日曜日) 9:00~16:00

「エクスカーション」(語り旅)：2025年9月12日(金曜日) 14:00~17:00

開催場所：京都橘大学 住所：〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34番地

<https://www.tachibana-u.ac.jp> Tel 075-574-4258 (山崎研究室直通)

全国大会事務局：E-mail: jahr33thconference@gmail.com

シリーズ「ともに老いゆく」(その1) 暮らす地域にかかわる場所、結びつく場所の誕生と挑戦

副理事長 三好明夫先生による「居場所づくりプロジェクト」始動！

この度、本学会副理事長の三好明夫先生が、地域に開かれた新たな試みとして「居場所づくりプロジェクト」を始動されました。

プロジェクトにかける想い

「昨今の慌ただしい毎日に疲れた方々が、自然体で『フワフワと、のんびり、ゆったりと』過ごせるような集い場を提供したい」という三好先生の長年の想いから、今回のプロジェクトは立ち上がりました。福祉施設のような堅苦しさではなく、地域交流や連携の輪を広げながらも、誰もが気軽に立ち寄れる「常設の居場所」を目指されています。

どんな場所？

この集い場は、地域の老若男女、どなたでもいつでも利用できるのが大きな特徴です。特定の活動や時間割を設けるのではなく、訪れる人が自由に過ごせる空間を提供します。例えば、「ただぼーっとしたい」時には和室で畳に寝転んだり、個室で誰にも邪魔されずにゴロゴロしたりと、自宅ではなかなか味わえない「ホッと一息つける時間」を過ごすことができます。好きな時に起きて、食べて飲んで、またゴロゴロする、そんな自由な過ごし方が可能です。

小さな、しかし確かな一歩

三好先生は、「これは本当に小さな一歩であり、どこまで歩いていけるか分からない一歩」と謙遜されながらも、「それでも踏み出さねば」という強い決意を語られています。このプロジェクトが、地域社会にとってかけがえのない「居場所」となることを心から願っています。

(右の囲みは三好先生の Facebook ページからの引用です。)

(次号に続く)



明夫三好

4月29日 · 🌱

本日初日を迎えた地域連携協働ステーション
居場所づくりプロジェクトの寄合度のスタートであります。
京都市北区の大徳寺至近、閑静な住宅街の民家です。

大勢の参加をいただきました。地域近隣の皆さまの
ランチTimeの居場所の様子に感激です。

御花をたくさんいっぱいいただきました。

感謝です。

参加いただいた中にお手伝いをいただいた方、感謝です。

卒業生の支援も感謝です。

小さな一歩、よちよちの一歩です。

それでも一歩には違いありません。

ゆっくりしっかり歩いて参りましょう。

地域の老若男女問わず受け入れて歩む居場所づくり
です。

どうかよろしく願いいたします。

関係各位

拝啓

陽春の候、貴殿ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は福祉事業の推進には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ずいぶんご無沙汰ご無礼を続けております皆様にも失礼を承知して、一文差し上げさせていただいております。

私、京都ノートルダム女子大学において社会福祉系の教員として勤務をして17年になりました。早いものです。そして第一号被保険者としての歩みも始まっております。「ともに老いゆく」であります。その中で考えたことは、老いてもなお活動せねばならないということであります。よくいうところの「体と心が動く間は・・・」であります。

四国は愛媛県松山市の特別養護老人ホームで生活指導員をしていた福祉現場経験からスタートして大勢のお仲間、ご支援者にお力添えをいただきながら、大阪、東京、岐阜、そして京都に福祉教育の場をいただき四半世紀が過ぎました。感謝は続きます。

前後しましたが、北区にあります佛教大学が私の母校でもあり、現在も母校に毎週、非常勤講師として社会福祉を学ぶ若者たちとの出会いを許していただいております。

◎今回、京都市北区の地域において介護保険法でも障害者総合支援法でもなく、宅児所でもなく宅老所でもない老若男女問わず、いつでも誰でも集ってお茶を飲んでお話をしたり、どのようにも自由に過ごしてもらえるスペースとして民家を借りまして「常設」の寄合処、集い場を開設することにいたしました。

とはいえ、この活動、少なくとも初年度においては収益化、営業活動等での利益追求を目論んでおりません。しかし、地域にはまだまだ交流や対話、支援を必要としている方々がおられることからまずは一歩踏み出すことにいたしました。「居場所づくりプロジェクトの始動」であります。

寄合処、集い場の案内パンフレットを添付させていただいております。

民家の場所は、大徳寺さんから徒歩3分の閑静な住宅地の中にある場所ですが、どちらの地域場所からでも参集いただくことが可能です。

皆さまには、お近くにお越しの時には是非お立ち寄りいただきたく存じます。また必要に応じてお知り合い、ご友人にも啓発していただくことができればありがたくここに平身よりお願いを申し上げます。

主宰する NPO 法人とらい・あぐるは 2010 年に大阪府で認証をいただき産声をあげましたが、京都市北区でのこの寄合処、集い場活動が、地域を耕し心豊かな居場所づくり活動となりますので、京都市への認証変更を申請することとしております。

末筆ながら皆さまのますますのご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

敬具

2025 年 4 月 22 日

特定非営利活動法人とらい・あぐる理事長
京都ノートルダム女子大学現代人間学部教授

三好明夫

居場所作りプロジェクト ～暮らす地域にかかわる場所、結びつく場所～
特定非営利活動法人とらい・あぐる



寄合処YORIAI DOKORO 集い場TSUDOI BAR

介護じゃなくて
介助じゃなくて
援助じゃなくて～支援でもなくて
したいのは **応援**

「大徳寺バス停」から徒歩3分、静かな住宅街にあります
いつでも、どなたでもお立ち寄りいただけます

特定非営利活動法人とらい・あぐる『居場所作りプロジェクト』～暮らす地域にかかわる場所、結びつく場所～




特定非営利活動法人 とらい・あぐる

寄合処YORIAI DOKORO 『Try』

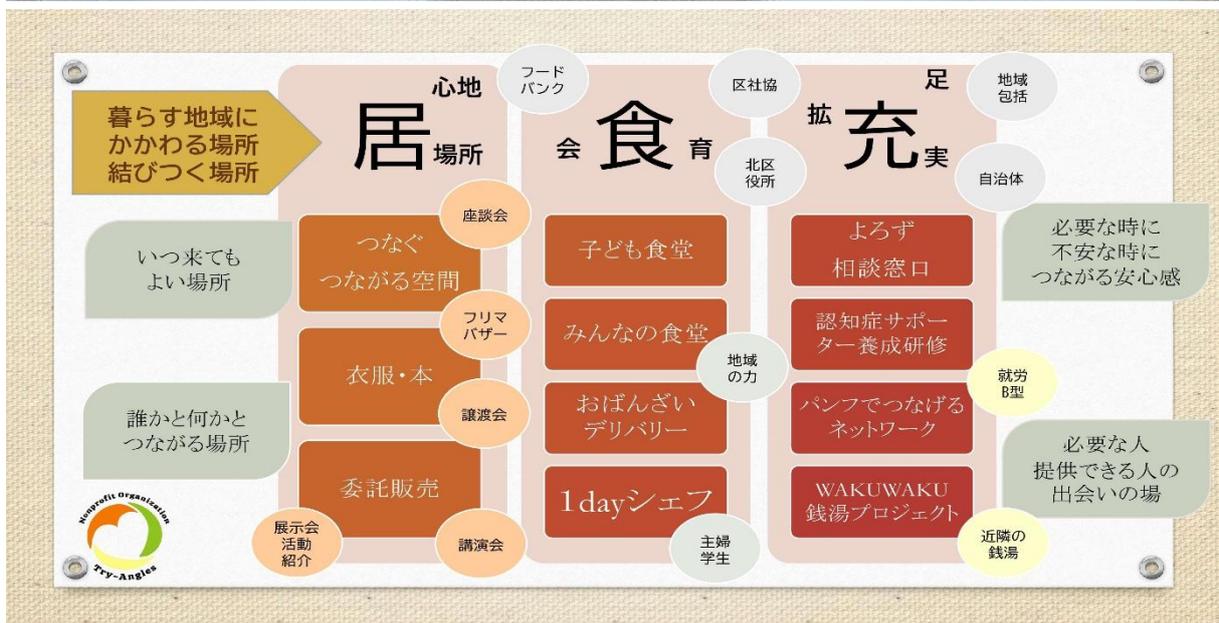
集い場TSUDOI BAR 『Angles』

京都市北区紫野下築山町
市バス「大徳寺前」
下車徒歩3分
大徳寺にほど近い
静かな気が満ちた民家でお待ちしています



いつでもだれでもお立ち寄りください。
宅老所でもなく、宅見所でもなく、**地域丸ごと応援し隊**のです！

とらい・あぐる公式アカウント
@968dbtrm
LINEでお問合せ受付中！



特定非営利活動法人 とらい・あぐる

2010年大阪府認証

〒603-8222 京都市北区下築山町67

- 地域連携交流事業

- ↳ 集い場TSUDOI BAR 寄合処YORIAI DOKORO
- ↳ 「とらい・あぐるCAFE」

- 福祉職員研修事業

- ↳ 社会福祉士実習指導者講習会
- ↳ 介護福祉士実習指導者講習会 ほか

- 介護・福祉サービス第三者評価事業

-

-  介護サービス・福祉サービス
第三者評価

from now on

- 相談支援事業

- 自立生活援助事業

☎ 075-334-8088

and more...

info@npo-try-angles.com



NPO 特定非営利活動法人 とらい・あぐる - Nonprofit Organization Try-Angles

本ニュースで取り上げた「寄り合い処」が 「京都のお墨付き！」公式ブログで紹介されました！

三好先生によると、この度、地域の居場所づくりプロジェクト「さんちゃん」が運営する「寄り合い処」について、素敵なブログ記事を書いていただきましたとのこと！

「京都のお墨付き！」というブログで、「【京都2025新店】北区 - とらいあぐる 寄り合い処 / 紫野 / カフェ」と題してご紹介いただいています。

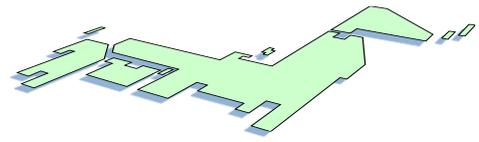
「寄り合い処」は、決してレストランや食堂がメインではありません。地域の老若男女が集い、交流できる「居場所づくり」を一番の目的としています。今回のブログ記事では、そのコンセプトを温かくご紹介いただき、大変ありがたく感じているとのことでした。

三好先生はこうしたブログをきっかけに、さらに多くの方が「寄り合い処」に足を運んでくださることを願っておられます。ぜひ記事をご覧ください、活動にご興味を持っていただけると嬉しいです。

「京都のお墨付き！」公式ブログはこちら
<https://osumituki.com/foodie/222562.html>

北から、南から

流れてく時間のために変わること沢山あるけれど…



時を超えてつながる音楽の絆

谷川和昭(関西福祉大学教授)

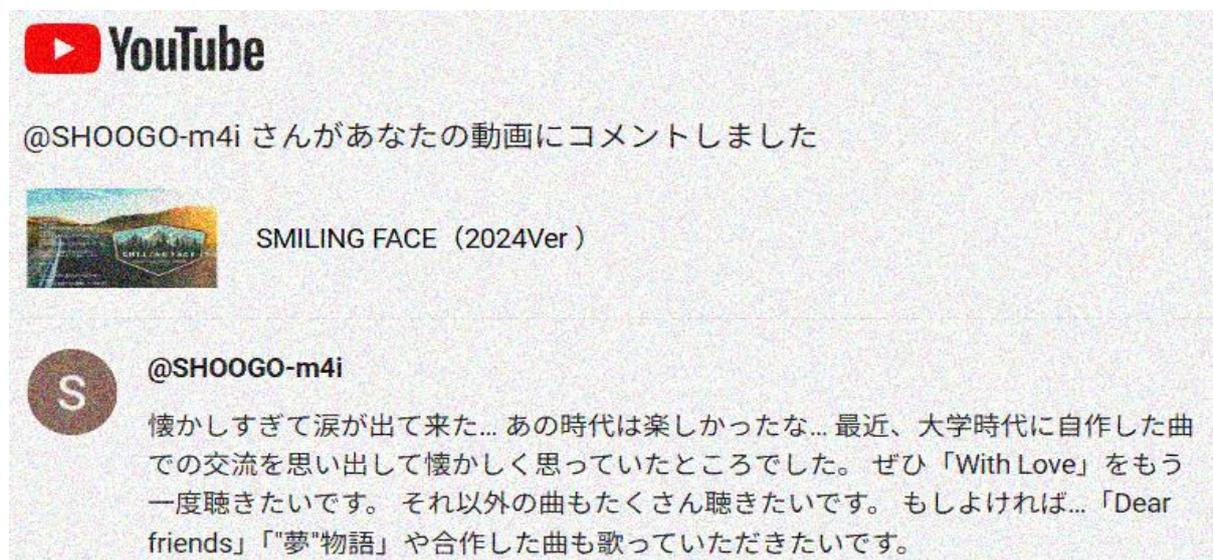
大学時代、私は心友の影響で作詞作曲を趣味とするようになりました。ある日、私の作ったオリジナル曲が遠く離れた九州は鹿児島的心友の高校時代からの友人の耳に触れる機会があり、どうやらその曲がその友人、後にペンフレンドとなるその方の心に響いたようです。

それがきっかけとなり、大学3、4年次にはそのペンフレンドとの文通が始まりました。私がカセットテープにキーボードで吹き込んだメロディを送ると、ペンフレンドはそれに詩をつけてくれたり、時には自身が作った曲をアカペラで歌い、私に送り返してくれたりもしました。こうしたやり取りを続けるうちに、私自身も素人ながら、ペンフレンドの歌になんとか伴奏をつけて、自分でも歌えるようになりました。そして、大学卒業前には心友のお声かけもあり東京で落ち合うことに。2度目には親友や当時の友人たちも交え、ささやかなりサイトも開催しました。今となっては、すべてが懐かしい思い出です。

大学卒業後は音信不通となって、風の噂では私と同じ業界にいることを知りましたが、連絡は途絶えたままでした。しかし、忘れもしない2025年5月15日、35年という長い時を経て、私のYouTubeチャンネルにそのペンフレンドからなんとコメントが届いたのです。そのコメントを見たとき、「涙が出てくる」のはまさに私のほうでした。ちなみにユーチューブチャンネルにコメントが入ると、登録したメールアドレスに通知が届くことを開設5年以上が経って初めて知りました。驚きました。

そのような、とても素敵な出来事がありましたので、もしよろしければ、当時のオリジナル曲である「WITH LOVE」「夢物語」「Dear Friends」などを、ぜひお聴きいただければ幸いです。名曲です。

<https://youtu.be/LpHW41IABU>



令和7(2025)年度 第1回日本人間関係学会理事会議事録

日時：令和7(2025)年5月10日(土) 午前9時30分～10時45分

方法：Zoomによるオンライン会議

出席者：占部、佐藤、佐々木、杉本、鈴木、田中(典)、田中(康)、谷川(和)、永野、早坂、藤川、三好、山崎の13名、そして4名の理事から理事長一任の委任状が寄せられ、計17名の参加となり、理事会は成立した。

・理事長挨拶：今年度も本学会へのご理解とご協力を頂きたい旨の挨拶があり、資格制度の確立及び全国大会への協力が呼びかけられた。

【協議事項】

1. 第33回全国大会について

①日程：令和7(2025)年9月13日(土曜日)10：00～17:00

同9月14日(日曜日)9：00～16:00

②「エクスカージョン」：2025年9月12日(金曜日)14：00～17：00

③会場：京都橘大学 〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34番地

④日本人間関係学会第33回大会のテーマを、「新たな人間関係の構築に向けて一人間の尊厳を問い直す」としたい旨の提案があり、異議なく承認された。

⑤「日本人間関係学会第33回全国大会発表等申込書及び参加申込書兼振込書」についての説明があった。「口頭発表・シンポジウム・ラウンドテーブル」の企画希望の方は、「参加申込書及び発表等要旨原稿」を7月15日(火)迄に「日本人間関係学会第33回全国大会事務局(jahr33thconference@gmail.com)」宛にメールでの提出とする案の説明があり、また「日本人間関係学会第33回全国大会参加申込書兼各種費用振込書」の8月15日(金)迄の提出とする計画が承認され、大会事務局による詳細な検討と確認を以て、HP等に掲載することとなった。

尚、「プログラム・発表要旨集」は、本学会HPにての公表を以て行い、今年度は印刷・発刊しないことが審議され、異議なく承認された。その分を参加費や口頭発表掲載費を軽減とすることが審議の結果、異議なく承認された。しかし、HP掲載について、掲載期限やパスワードを設定しての利用についての意見があったが、次回理事会での継続審議とした。

2. 人間関係士資格制度及びガイドブックについて

(1)ガイドブックの進捗状況について

未了原稿があるが、殆ど揃ってきているので出版社と協議を始め、原稿を入稿してレイアウトを統一させた上で、初稿校正に取り進みたいこと及び未了原稿は個別に確認・相談をする予定が述べられた。ガイドブックの発刊は全国大会の開催日に合わせる計画でしたが、以下のスケジュールで本年12月までの完成を目指すことが説明され、承認された。

【想定されるスケジュール】

①5月中に出版社との交渉を進める。

②6月中旬に原稿データ送付・初稿原稿作成依頼(出版社)。

③7月～初稿校正開始(委員会内)、未までに執筆者へ修正依頼。

④8月～執筆者修正原稿受領、未までに第2校作成依頼(出版社)。

⑤9月～2校校正(委員会内)、未までに第2校戻す。

⑥10月～出版に向けての最終確認・出版依頼。

⑦11月中に納品・テキスト送付作業。

(2)資格証(上級者資格認定について)

上級資格資格証の発行に関して、数名の方から申請料の送金先の問い合わせが来ています。申請書も作成・送付されている方もいます。このため上級資格の特別措置による認定者(新規)の登録料20,000円の送金手順について手続き中です。

(3)資格ガイドの公表と初級申請の手続きについて

現状のHPの資格ガイドが旧のままになっていますが、今年度から少なくとも初級資格申請を進めていくことが必要です。

この進行については、以下のように進めたいと思います。

【資格申請に関する今後のスケジュール】

①7月末をめどにHP情報の改定を行う。

②「人間関係士」中級以上取得者が主催する研究会・研修会・セミナー等への参加者への初級認定手続きを8月末以降、受け付けるようにする。

⇒今回の理事会に諮り、承認が得られたら申請マニュアルにそってまずは理事からの申請を優先して、手続きを進める。同時に、勤務校の学生への資格申請も可能になるので希望される場合は資格委員会(杉本)にご相談ください。

③今回全国大会に資格取得のための講座「人間関係士のための必修講座」が企画可能か検討したい。

④テキストは全国大会開催日には間に合わないですが、まずは必修講座(原則90分2ポイント換算という想定で、今回は90分4ポイントの特別講習にする)だけでも実施して、後は、関西地区会の参加や上級資格者の研修会等の参加、今回大会の講演参加なども「人間関係士のための基礎理論・応用実践技法講座」のポイント換算をしても良いかと考えています。(60分1ポイントの合計10ポイントで申請可)

※今回の大会で実施が困難な場合には②を今年度の事業目標にして、③は別企画にするか来年度からとすることも想定しています。

尚、この資格関連の講座について、依頼機関(組織・団体等)との簡単な「同意書」の作成のため全理事に関連資料の提供依頼があり、併せて同意書の取りまとめ案の作成を山崎理事に理事長から依頼された。

3. 会員の入・退会についてについて

入会は立花直樹氏、灰谷和代氏、島村円佳氏、末國明美氏。

退会は菅原秀次氏で、以上の全員について、異議なく承認された。

4. その他

次回理事会開催予定を、6月28日④10時30分より開始とすることが承認された

【報告事項】

1. 本学会「入会申込書」について：理事会での意見を反映した「入会申込書」の記載内容について理事長から確認された。

2. 関西・東海地区会82回記念研究会開催報告：同地区会の研究会について報告があった。

3. その他：特にないことの確認を以て、今回の理事会を終了した。

以上

事務局だより

【会員動向】（2025年3月1日～2025年7月28日）

2025年7月28日現在

会員138名（正会員：111名 一般会員：11名 準会員：16名 賛助会員：0）

〈入会者〉

正会員：5名・立花直樹・灰谷和代・末國明美・松田光一郎・三好このみ

一般会員：1名・島村円佳

（敬称略）

8月に入り、暦の上では立秋、処暑となりますが、厳しい暑さが続いております。まだまだ暑さは続くようです。こまめな水分補給と十分な睡眠で、この夏を乗り切り、9月の全国大会で元気にお会いしたいと思います。

9月は移動の時期でもございます。ご住所等の変更がございましたら、学会事務局までご一報いただきたく存じます。何卒、よろしくお願い致します。



日本人間関係学会第33回全国大会

2025年9月13・14日（土・日）開催

12日（金）エクスカージョン実施

会場 京都橘大学 大会長 山崎将文

※参加申込は8月15日まで。公式HP等で確認してください。

学会ニュースは年2回発行（2月・8月）

「北から、南から」のコーナーでは、会員からの投稿をお待ちしております。お寄せいただきたいのは、**A4用紙・半枚から1枚**。多少オーバーしても大丈夫。

日々の生活で感じたことや、思い浮かんだこと、作品などお便りに載せてください。

1月末までの投稿分は2月発行のニュースに掲載されます

7月末までの投稿分は8月発行のニュースに掲載されます

送付先 広報委員会（谷川）まで tanikawa@kusw.ac.jp

（編集後記）

今号から、一般社団法人日本人間関係学会理事会の議事録を学会ニュースに掲載することになりました。以前は機関誌に年間の議事録をまとめて掲載していた時期もありましたが、ここ数年は年一度の総会での報告などで共有していました。しかし、この度6月28日の理事会で承認され、今後は学会ニュースを通じて、よりタイムリーに皆様へ本学会の事業や活動をお伝えできるようになります。会員の皆様に、これまで以上に学会の動きを身近に感じていただけると幸いです。

（谷川）